

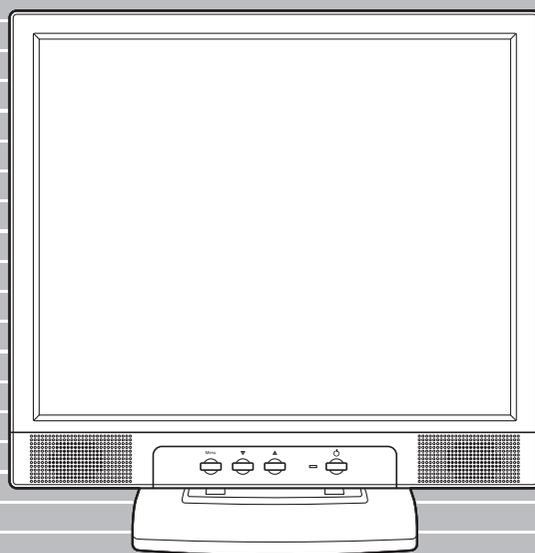
HITACHI
Inspire the Next

日立液晶ディスプレイ

形名

DT3173

取扱説明書



マニュアルはよく読み、保管してください。

■製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

■このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

重要なお知らせ

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載あるいは引用することを禁止します。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の記述内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本製品を運用した結果については前項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

製品の信頼性について

ご購入いただきました製品は、一般事務用を意図して設計・製作されています。生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。このような使用に対する万一の事故に対し、弊社は一切責任を負いません。

高信頼性を必要とする場合には、別システムが必要です。弊社営業部門にご相談ください。

一般事務用製品が不適当な、高信頼性を必要とする用途例

・ 化学プラント制御、医療機器制御、緊急連絡制御など

規制への適合について

● 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

● ENERGYSTAR[®] について

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

『国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機、スキャナ、複合機のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。』

● 輸出規制について

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規制等外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、お問い合わせ先にお問い合わせください。

Microsoft、MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft Corp. の登録商標です。

ENERGYSTAR は米国の登録商標です。

その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

はじめに

このたびは 17 型カラー液晶ディスプレイ（以下、ディスプレイ）をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品は、1280 × 1024 ドットまで表示できる高精細液晶ディスプレイです。このマニュアルをよくお読みになり、正しくご使用ください。また、接続するパソコンに付属のマニュアル（制限事項を含む）もあわせてお読みください。

マニュアルの表記

■ マークについて

マニュアルの中で使用している、マークの意味を説明します。

 **重要** 重要事項や使用上の制限事項を示します。

 **ヒント** パソコンを活用するためのヒントやアドバイスです。

 **参照** 参照先を示します。

ご確認いただくこと

ご使用になる前に、次の点をご確認ください。

もし、不具合があるときは、お買い求め先にご連絡ください。

- 形式が注文どおりのものであるか？
- 輸送中に破損したところはないか？
- 次の構成品が同梱されているか？
 - ・ディスプレイ
 - ・電源コード
 - ・取扱説明書（本書）
 - ・D-Sub ケーブル
 - ・オーディオケーブル

お問い合わせ先

パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

もくじ

はじめに	1
マニュアルの表記	1
ご確認いただくこと	1
お問い合わせ先	1
もくじ	2
安全にお使いいただくために	3
ディスプレイの概要	10
本製品の特長	10
各部の名称と操作方法	11
電源スイッチ・電源ランプ	12
調整用ボタン	12
そのほかの機能	13
パソコンとの接続	14
ディスプレイの設置位置と使用時の姿勢	14
設置場所	15
ディスプレイの角度調整	15
接続方法	17
操作方法	19
OSD(オン・スクリーン・ディスプレイ) 機能	19
アームを使う場合	23
アームの取り付け	23
お取り扱い	25
日頃のお手入れ	25
そのほか	25
ハード技術情報	26
仕様	26
コネクタ-信号について	27
ビデオモード	28
有償部品	29
故障かな?と思ったら	30
考えられる原因と対策	30
アフターケアについて	31
保証書について	31
修理サービスについて	31
保守サービスの種類	31
保守部品について	31

安全にお使いいただくために

● 安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

- ・ 操作は、このマニュアル内の指示、手順に従って行ってください。
 - ・ 装置やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。
- これを怠ると、けが、火災や装置の破損を引き起こすおそれがあります。

● シンボルについて

安全に関する注意事項は、次に示す見出しによって表示されます。これは安全注意シンボルと「警告」および「注意」という見出し語を組み合わせたものです。



これは、安全注意シンボルです。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージに従ってください。

これは、死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用います。

これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

これは、装置の重大な損傷、または周囲の財物の損害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。



【表記例 1】感電注意

△の図記号は注意していただきたいことを示し、△の中に「感電注意」などの注意事項の絵が描かれています。



【表記例 2】分解禁止

⊘の図記号は行ってはいけないことを示し、⊘の中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。



【表記例 3】電源プラグをコンセントから抜け

●の図記号は行っていただきたいことを示し、●の中に「電源プラグをコンセントから抜け」などの強制事項の絵が描かれています。

● 操作や動作は

マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。装置について何か問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い求め先にご連絡ください。

● 自分自身でもご注意を

装置やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を越えた事態が起こることが考えられます。操作に当たっては、指示に従うだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

警告



異常な熱さ、煙、異常音、異臭

万一異常が発生した場合は、電源スイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグを抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。



修理・改造・分解

本書の指示に従って行う VESA アームの取り付け作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。火災や感電、やけどの原因になります。特に裏ぶたやカバーを外したりしないでください。

参照 関連ページ→「アームを使う場合」(P.23)



通気孔

- ・通気孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないようにください。また、通気孔をふさいでしまうラックなどへの設置はしないでください。内部の温度が上昇し、発煙、発火や故障の原因になります。
- ・ディスプレイを傾けて固定するラックなどには、設置しないでください。通気孔を通る空気の流れが変わるため、内部の温度が上昇し、発煙、発火や故障の原因になります。

参照 関連ページ→「設置場所」(P.15)



装置内部への異物の混入

通気孔などから内部にクリップや虫ピンなどの金属類や燃えやすい物などを入れないでください。そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。



ケースカバーの取り外し

ケースカバーを取り外さないでください。内部には高電圧部分が多くあり、万一さわると危険です。



揮発性液体の近くでの使用

マニキュア、ペディキュアや除光液など揮発性の液体は、本ディスプレイの近くで使わないでください。本ディスプレイの中に入って引火すると火災の原因になります。



装置上に物を置く

花びん、植木鉢など水の入った容器や虫ピン、クリップなどの小さな金属物を置かないでください。内部に入った場合、そのまま使用すると、感電や発煙、発火の原因になります。



電源コードの扱い

電源コードは、必ず付属のもののみ使用し、次のことに注意してお取り扱いください。取り扱いを誤ると、電源コードの銅線が露出したりショートや一部断線で、過熱して、感電や火災の原因になります。

- ・ものを載せない
- ・引っ張らない
- ・押しつけない
- ・折り曲げない
- ・加工しない
- ・熱器具のそばで使わない
- ・束ねない
- ・電源コードをディスプレイに差し込む、および抜くときは、電源コネクタをしっかりと持って行う
- ・電源コネクタは根元までしっかりと差し込む

警告



電源プラグの抜き差し

- ・電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持って行ってください。電源コード部分を引っ張るとコードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。
- ・休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。使用していないときも通電しているため、万一、部品破損時には火災の原因になります。
- ・電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。



本ディスプレイの移動

電源プラグなどの外部の接続線をつないだまま移動させないでください。火災、感電、けがの原因となることがあります。



電源プラグなどの接触不良やトラッキング

電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。

- ・電源プラグは、根元までしっかり差し込んでください。
- ・電源プラグは、ほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は、乾いた布などで拭き取り、差し込んでください。
- ・グラグラしないコンセントを使ってください。

参照 関連ページ→「接続方法」(P.17)



落下などによる衝撃

落下させたり、ぶつけるなど過大な衝撃を与えないでください。内部に変形や劣化が生じ、そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。



使用する電源

日本国内で使用できる電源は交流 100V です。それ以外の電圧では使用しないでください。電圧の大きさに従って内部が破損したり過熱・劣化して感電や火災の原因になります。



日本国以外での使用

本ディスプレイは日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより国外で使用すると火災や感電の原因になります。また他国には独自の安全規格が定められており本ディスプレイは適合していません。



タコ足配線

同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因になるとともに、電力使用量オーバーでブレーカーが落ち、ほかの機器にも影響を及ぼします。



湿気やほこりの多い場所での使用

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機、加湿器のそばなど、水を使用する場所の近傍、湿気が多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所で使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。

参照 関連ページ→「設置場所」(P.15)



温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、発煙、発火や感電の原因となります。使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。

警告



梱包用ポリ袋について

ディスプレイの梱包用エアキャップなどのポリ袋は、お子さまの手の届くところに置かないでください。かぶったりすると窒息するおそれがあります。



電源スイッチについて

STAND-BY（電源切）でも、一部の回路には通電しています。休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、必ず電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。万一、部品破損時には火災の原因になります。

参照 関連ページ→「電源スイッチ・電源ランプ」(P.12)



アームの取り付け

- ・アームの取り付けは、確実に行ってください。外れたり倒れたりしてけがや故障の原因になります。万一、落下した場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると感電や火災の原因になります。
- ・固定するネジは、アームに付属のネジ（長さ 10mm）を使用してください。付属以外の長すぎるネジを使用すると、正規の絶縁が確保されず、感電や本ディスプレイ故障の原因となります。

参照 関連ページ→「アームを使う場合」(P.23)

注意



液晶パネルの破損

液晶パネルはガラスでできています。液晶パネルが破損したとき、ガラスの破片には直接触れないでください。けがをするおそれがあります。



不安定な場所などでの使用

傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

参照 関連ページ→「設置場所」(P.15)



目的以外の使用

踏み台やブックエンドなど、ディスプレイ本来の目的以外に使用しないでください。壊れたり、倒れたりし、けがや故障の原因になります。



各ケーブル・電源コードについて

- ・ ケーブルは足などに引っかけないように、配線してください。足をひかけると、けがや接続機器の故障の原因になります。また、大切なデータが失われるおそれがあります。
- ・ ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因になります。



スタンドについて

- ・ 角度を調節するときは、両手でゆっくり操作してください。片手で行うと、転倒するおそれがあります。
- ・ 角度を調節するときは、スタンドとディスプレイ部の間に指を挟まないように気をつけてください。けがをするおそれがあります。

参照 関連ページ→「ディスプレイの角度調整」(P.15)



眼精疲労について

ディスプレイを見る作業を行うときは、作業場を300～1000ルクスの明るさにしてください。また、連続作業するときは、1時間に10分から15分程度の休息をとってください。長時間ディスプレイを見続けると、眼に疲労が蓄積されます。

注意



本ディスプレイの廃棄

本ディスプレイを廃棄する場合は、適正なリサイクル処理をお願いします。

「資源の有効な利用の促進に関する法律（通称）：改正リサイクル法」にもとづき、本ディスプレイの製造事業者である弊社は、お客さまのご依頼にもとづく事業者（法人所有）向けのディスプレイの回収リサイクルサービスと、ご家庭（個人所有）向けのディスプレイリサイクルサービスを提供しています。当該サービスでは回収リサイクルの効果を向上させるなど、法律の趣旨に的確に対応していますので、ご利用ください。

参照 関連ページ→パソコンに付属の取扱説明書



電波障害について

ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- ・ テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- ・ テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
- ・ コンセントを別にする。



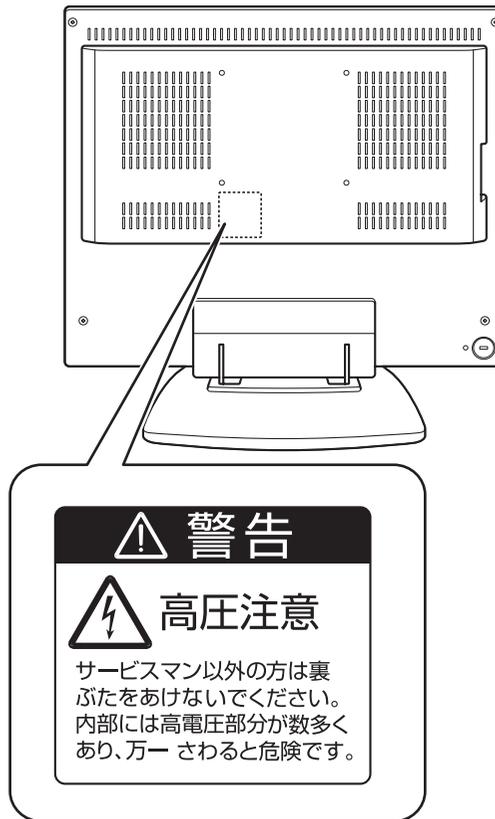
屋外での使用

屋外では使用しないでください。故障の原因になります。

● 警告ラベル

警告ラベルは、次に示す部分に表示してあります。

■ ディスプレイ本体



ディスプレイの概要

本製品の特長

次の特長があります。

■ 17 型カラー液晶を採用

水平± 70 度、垂直± 65 度の視野角があり、斜めからもくっきり見えます。画面全体が色むらなくきれいに見えます。

■ アナログインタフェースを採用

CRT ディスプレイ互換のアナログインタフェースを搭載しています。DVI 方式のデジタルインタフェースを持たないパソコンも接続できます。DDC 2B をサポートしており、Microsoft(R) Windows(R) Operating System(以下、Windows)の Plug&Play 機能に対応しています。

■ 1619 万色(擬似フルカラー)表示

静止画表示から、動画表示まで幅広いアプリケーションで使えます。

■ スピーカー標準装備

ステレオ対応スピーカーを内蔵しており、1W+1W で音声が出力できます。

■ VESA マウントインタフェース 100mm 規格準拠

スタンド部分を取り外し、OA 事務機器メーカーより発売されているアームを取り付けることができます。

「VESA Flat Panel Monitor Physical Mounting Interface Standard(FPMPMI)」に対応しています。

■ 盗難防止用ロック取り付け穴装備

万が一の盗難に備えて、ディスプレイに盗難防止用ロック取り付け穴を設置しています(Kensington 社製マイクロサーバーセキュリティシステムに対応)。

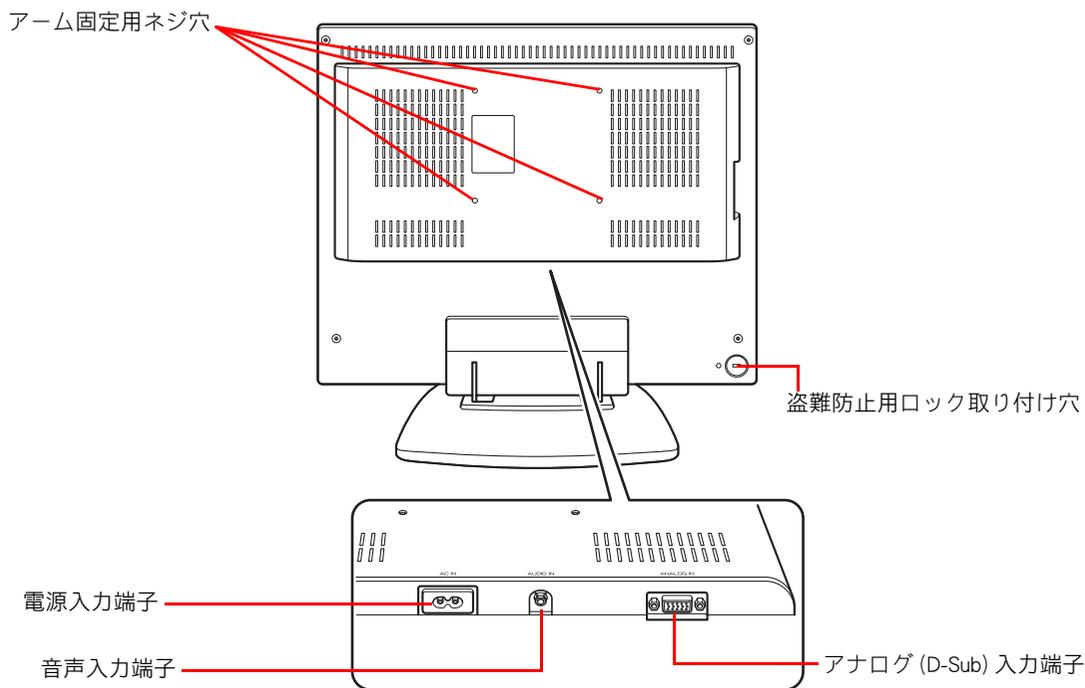
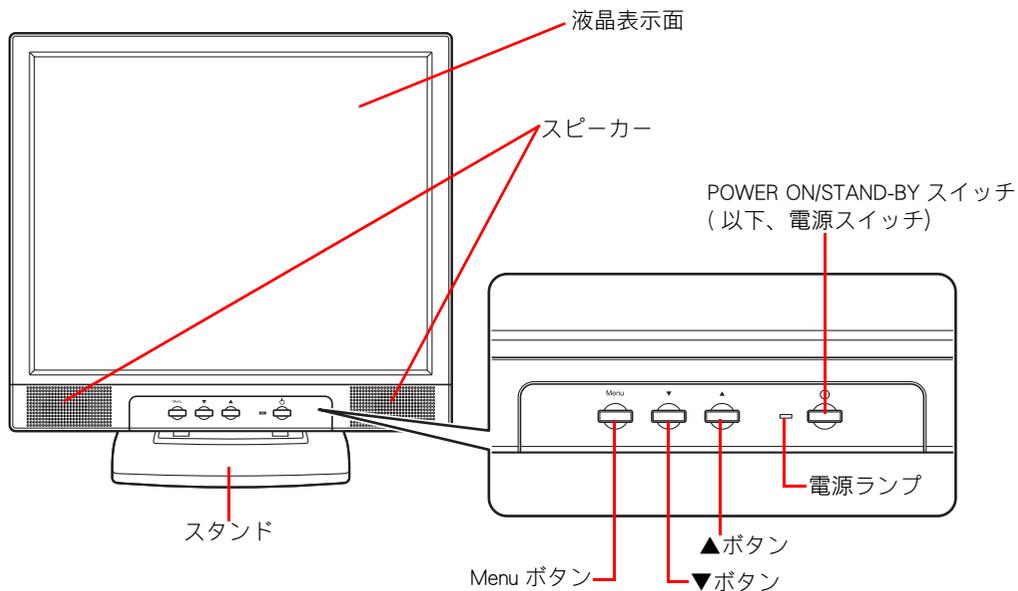
机などと一緒に施錠することで盗難防止に役立ちます。

■ OSD ロック機能

OSD をロックして非表示にすることで、「色調整」や「画質調整」を設定できる人を制限できます。ただし、「明るさ調整」については、OSD ロック機能を設定しても変更できます。

各部の名称と操作方法

ディスプレイは前方に5度、後方に20度傾けることができます。
お好みの角度でお使いください。



電源スイッチ・電源ランプ

電源スイッチを押すことにより、電源の入/切を行うことができます。

● POWER ON (電源入)

- ・ 電源ランプ (緑)

電源が入っている状態で映像信号が入力されているときに、緑色に点灯します。

- ・ 電源ランプ (だいたい)

電源が入っている状態で映像信号が入力されていないときに、だいたい色に点灯します。

パソコンの電源が入っていないときや、省電力機能が働いているとき、または映像入力ポートにコネクタが接続されていない場合に点灯します。

このとき、音声は出力されます。

● STAND-BY (電源切)

- ・ 電源ランプ (消灯)

⚠ 警告

- ・ STAND-BY (電源切) でも、一部の回路には通電しています。休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、必ず電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。省エネ効果もあります。

重要

- ・ 電源投入後は動作が安定するまで 20 ~ 30 秒かかります。その間に画面がちらつくことがあります。
- ・ 電源を切ったあとと再び入れる場合は、30 秒以上空けてください。

調整用ボタン

OSD 機能を使用して、画面を調整するときに使います。

● Menu ボタン

画面に調整用のメニュー (以下、メインメニュー) を表示します。

メインメニューが表示されているときに Menu ボタンを押すと、各調整項目を選択します。

● ▼ボタン/▲ボタン

メインメニューが表示されていないときに押すと、明るさ調整メニューが表示され、画面の明るさを調整できます。

▲ボタンを押すと、画面が明るくなります。

▼ボタンを押すと、画面が暗くなります。

メインメニューが表示されているときは、各調整項目を調整します。

参照

- ・ 「OSD(オン・スクリーン・ディスプレイ)機能」(P.19)

(((そのほかの機能

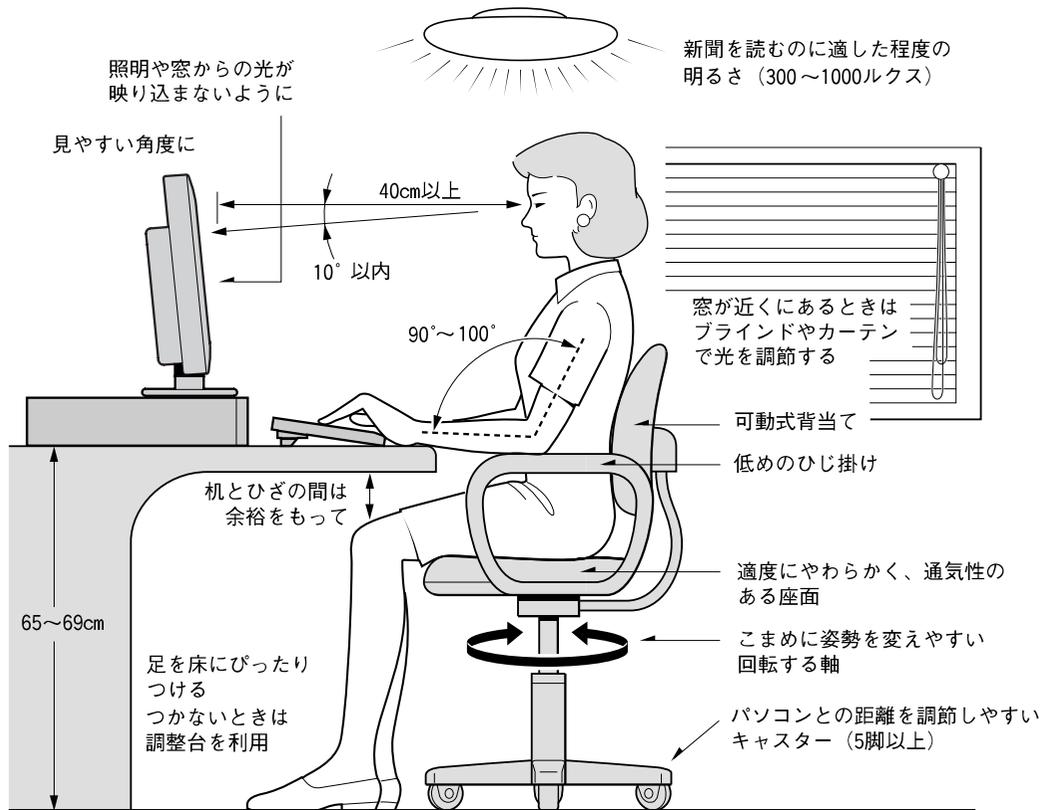
- **Plug&Play 機能**
Plug&Play 機能を実現させることができる VESA 規格 DDC 2B に対応しています。
- **省電力機能**
パソコンからの映像信号と同期信号を受信しないときは、自動的に消費電力を低減し、電源ランプがオレンジ色に点灯します。
この機能を使う場合は、パソコンの省電力機能を設定してください。
- **盗難防止用ロック取り付け穴**
ディスプレイのスタンドに、Kensington 社製マイクロサーバーセキュリティシステムに対応の盗難防止用ロック取り付け穴を設置しています。
- **OSD ロック機能**
OSD をロックして非表示にすることで、「色調整」や「画質調整」を設定できる人を制限できます。ただし、「明るさ調整」については、OSD ロック機能を設定しても変更できません。

参照

- ・ 「OSD(オン・スクリーン・ディスプレイ) 機能」 (P.19)

パソコンとの接続

ディスプレイの設置位置と使用時の姿勢



参照： 日本人間工学会ノートパソコン利用の人間工学のガイドライン（1998年労働科学研究所発行）

- ・ ディスプレイの角度は、やや見下ろすようにセットし、目からの距離は 40cm 以上離す。
- ・ ディスプレイの照度、明るさと周囲の照明を適度に調節し、ディスプレイの反射を抑える（300～1000ルクスが目安）。
- ・ パソコンの作業時間は、1日最大6時間を目安とし、1時間ごとに10～15分の休息をとる。
- ・ 目から視対象（画面、原稿、キーボード）までのそれぞれの距離が大きく異ならないようにする。

設置場所

「ディスプレイの設置位置と使用時の姿勢」を読んでからディスプレイを設置してください。

⚠ 警告

- ・ 浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機、加湿器のそばなど、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所で使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。
- ・ 通気孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがしないでください。また、通気孔をふさいでしまうラックなどへの設置はしないでください。内部の温度が上昇し、発煙、発火や故障の原因になります。
- ・ ディスプレイを傾けて固定するラックなどには、設置しないでください。通気孔を通る空気の流れが変わるため、内部の温度が上昇し、発煙、発火や故障の原因になります。

⚠ 注意

- ・ 傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

注意

- ・ 高温にならない所へ設置してください。直射日光のあたる場所、ストーブのような熱器具の近くに置くと、故障の原因になります。
- ・ 腐食性ガスの発生しない所、振動のない所に設置してください。油煙や腐食性ガスの発生する場所、振動が継続する場所に置くと、故障の原因になります。

ディスプレイの角度調整

ディスプレイを梱包箱から取り出したとき、ディスプレイとスタンドが平行な状態になっています。次の手順でディスプレイのスタンドを起こしてご使用ください。

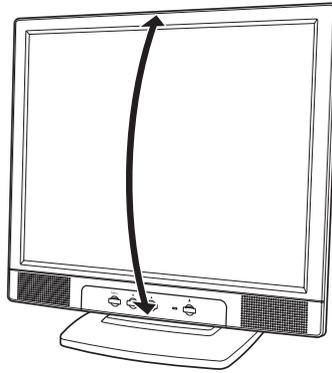
⚠ 注意

- ・ 角度を調節するときは、両手でゆっくり操作してください。片手で行うと、転倒するおそれがあります。
- ・ 角度を調節するときは、スタンドとディスプレイ部の間に指を挟まないように気をつけてください。けがをするおそれがあります。

🌀 スタンドを起こす

- 1** 液晶パネルを傷つけないように、水平な場所に柔らかい布などを敷き、その上にディスプレイの正面を下に向けて置く。
- 2** 片手でディスプレイの背面中央を押さえ、もう片方の手をスタンドの背面側にかけて、スタンドを起こす。

- 3** スタンドの底面を下に向けて置き、片手でスタンドの背面側を押さえ、もう片方の手をディスプレイの上端にかけて、ディスプレイを起こす。



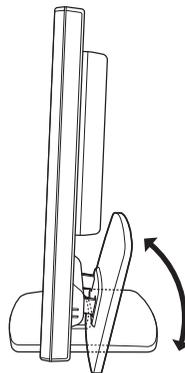
ヒント

- ・ ディスプレイは前方に5度、後方に20度傾けることができます。お好みの角度でお使いください。

● スタンドを倒す

持ち運ぶときやディスプレイを梱包箱に入れるときは、次の手順でディスプレイとスタンドを平行な状態にします。

- 1** 水平な場所に柔らかい布などを敷く。
- 2** スタンドの底面を下に向けて置き、片手でスタンドの背面側を押さえ、もう片方の手をディスプレイ上端にかけて、ディスプレイを倒す。
- 3** 液晶パネルを傷つけないように、柔らかい布などの上にディスプレイの正面を下に向けて置く。
- 4** 片手でディスプレイの背面中央を押さえ、もう片方の手をスタンドの背面側にかけて、スタンドを倒す。



接続方法

接続する場合は、パソコン・ディスプレイなど、すべての電源スイッチが OFF であることをご確認ください。

電源スイッチの位置については「各部の名称と操作方法」をご参照ください。

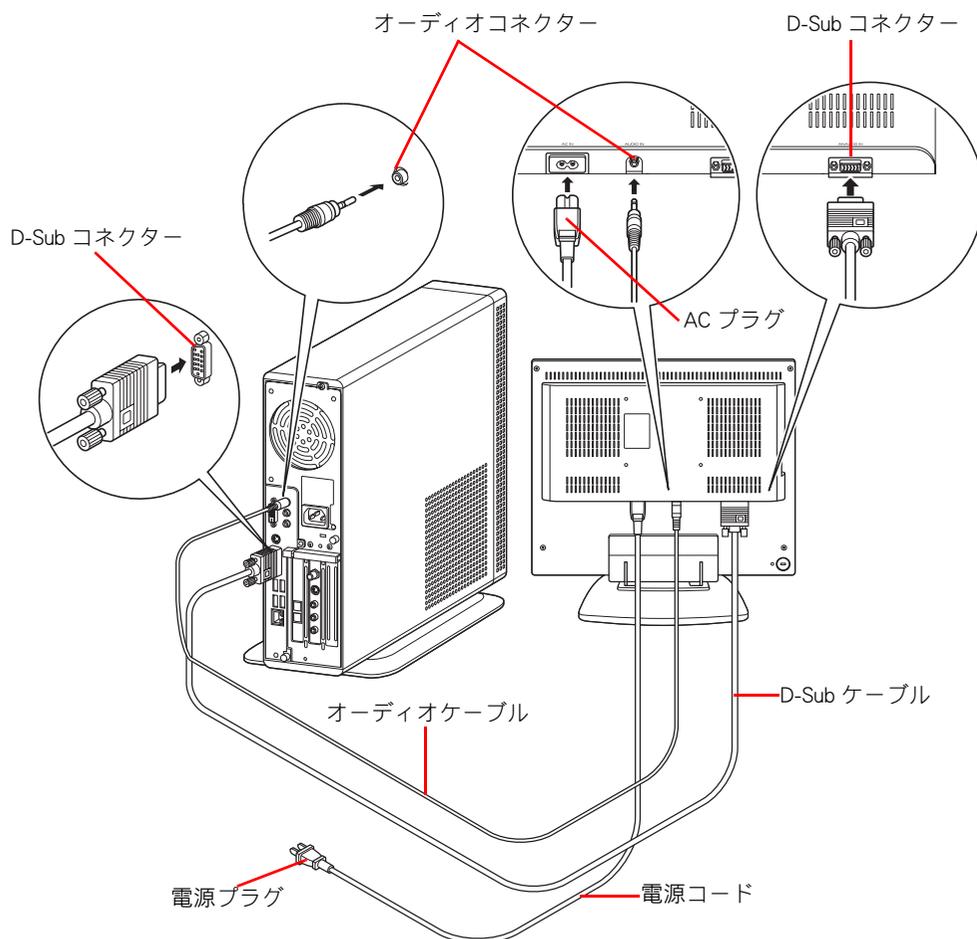
パソコンに付属のマニュアルもご参照ください。

映像・音声・電源コードの接続

次の図を参考に接続してください。

- 1** D-Sub ケーブルの接続は、上下の向きを確かめ、奥までしっかり差し込む。このとき、コネクタ内のピンを曲げないように注意して差し込みます。
- 2** D-Sub コネクタのつまみを右に回しコネクタを固定します。

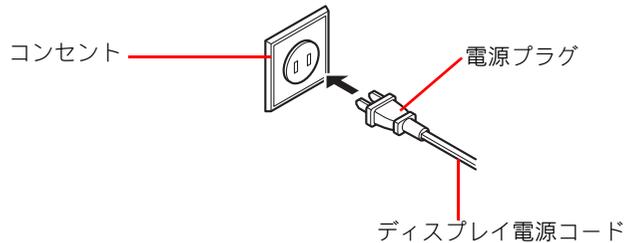
(接続例)



重要

- ・ 画面が表示されている状態で D-Sub コネクタを抜かないでください。再度、D-Sub コネクタを差し込んでも画面が表示されないことがあります。この場合は、パソコンを立ち上げ直す必要があります。
- ・ D-Sub ケーブルは、パソコンとディスプレイに直接接続し、延長ケーブルや各種アダプターは使用しないでください。使用すると画面が表示されないことがあります。
- ・ 各ケーブルやコードは、必ず付属のものをご使用ください。

3 ディスプレイの電源コードのプラグを、コンセントに差し込みます。



警告

- ・ 電源コードをディスプレイに差し込む、および抜くときは、電源コネクタをしっかりと持って行ってください。また、電源コネクタは根元までしっかりと差し込んでください。接触不良で過熱し、火災の原因になります。
- ・ 電源コードのプラグやコネクタに、ほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は、乾いた布などで拭き取り、差し込んでください。トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。
- ・ グラグラしないコンセントを使ってください。トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。

操作方法

OSD(オン・スクリーン・ディスプレイ) 機能

OSD(オン・スクリーン・ディスプレイ) 機能により、画面にメインメニューを表示し、明るさや、スピーカーの音量調整などを行うことができます。

なお、メインメニューは日本語と英語で表示できますが、本書では日本語版で説明しています。

● メインメニュー

Menu ボタンを押すと次のメインメニューが表示されます。



- ①…調整項目名
- ②…調整項目アイコン
- ③…入力信号の解像度 / 垂直同期周波数

- メニューが画面に表示されていないときに▲ボタンや▼ボタンを押すと、明るさ調整メニューが表示されます。
- メインメニューが画面に表示されている状態で Menu ボタンを押し、各調整項目を選択します。
- Menu ボタンを押すごとに、次ページの表の番号 1～7 の順番で調整項目が変わります。選択された項目は調整項目アイコンの色がマゼンタで表わされ、上のバーに調整項目名が表示されます。
- 番号 7 まで移動したあと、Menu ボタンを押すと OSD 機能が終了します。OSD 画面は約 10 秒間操作がないと自動的に終了します。

番号	調整項目アイコン/調整項目名		調整/設定内容	
1		自動調整	—	自動で画質を調整
2		明るさ調整	—	画面の明るさ（バックライトの明るさ）を調整
3		音量調整	—	スピーカの出力音量を調整
4		画質調整	フェーズ調整	入力される表示データのサンプリングタイミングを調整
			クロック調整	1 水平期間内のドットクロック数を調整
			水平位置調整	水平方向の表示位置を調整
			垂直位置調整	垂直方向の表示位置を調整
5		色調整	コントラスト調整	コントラスト（濃淡）を調整
			色あい選択	色あいを次の設定値から選択 標準 青色を強調 赤色を強調
			RGB 調整	RGB 各色の明るさを調整
			黒レベル調整	RGB の基準レベル（オフセット値）を調整
6		OSD	OSD 水平位置調整	OSD の水平方向の表示位置を調整
			OSD 垂直位置調整	OSD の垂直方向の表示位置を調整
			言語選択	OSD メニューの日本語/英語を切り替え
7		リコール	—	設定データを工場出荷状態に戻す

■自動調整

Menu ボタンを押して  アイコンを選択します。

▼ボタンを押して「する」を選択します（「する」の文字が朱色で表示されます）。

Menu ボタンを押すことにより自動調整が開始されます。

・自動調整ではフェーズ調整、クロック調整、水平位置調整、垂直位置調整を行います。

重要

- ・自動調整ではパソコンから入力される信号のばらつきによって、最適な表示ができないことがあります。その場合の微調整は手動で行ってください。ただし、設定後も周囲温度の変化により、表示のちらつきや文字のにじみなどが発生することがあります。その場合は、再度設定を行ってください。

■明るさ調整

Menu ボタンを押して  アイコンを選択します。

▲ボタンまたは▼ボタンを押すとバックライトの明るさを調整できます。

・OSD 画面が表示されていない状態で▲ボタンまたは▼ボタンを押しても、明るさの調整ができます。

■音量調整

Menu ボタンを押して  アイコンを選択します。

▲ボタンまたは▼ボタンを押すと、スピーカの出力音量を調整できます。

■画質調整

Menu ボタンを押して  アイコンを選択します。

▲ボタンまたは▼ボタンで調整項目を選択して Menu ボタンを押すと、各項目の調節ができます。各項目の調整終了後、もう一度 Menu ボタンを押すと調整項目の選択画面に戻ります。

●フェーズ調整

表示データとドットクロックの位相を微調整します。文字がにじんだり、画面がちらついたりする場合に調整します。

画面を見ながら▲ボタンまたは▼ボタンを押して調整します。

設定後も周囲温度の変化により、表示のちらつきや文字のにじみが発生することがあります。その場合は再度調整を行ってください。

●クロック調整

1 水平期間内のドットクロック数を調整します。クロック調整が合っていないと、画面が流れたり、縦縞が発生する場合があります。

この場合、▲ボタンまたは▼ボタンを押して調整します。

●水平位置調整

画面を見ながら▲ボタンまたは▼ボタンを押して、水平方向の位置を調整します。

●垂直位置調整

画面を見ながら▲ボタンまたは▼ボタンを押して、垂直方向の位置を調整します。

■色調整

Menu ボタンを押して  アイコンを選択します。

▲ボタンまたは▼ボタンで調整項目を選択し Menu ボタンを押すと、各項目の調節ができます。

●コントラスト調整

▲ボタンまたは▼ボタンを押して、白レベルと黒レベルの比率を調整します。

●色あい選択

▲ボタンまたは▼ボタンを押して、画面の色合いを選択します。

色合いを選択したら、Menu ボタンを押して決定します。

「標準色」の色温度は約 6500K、「青色を強調」の色温度は約 7800K、「赤色を強調」の色温度は約 5800K です。

●RGB 調整

赤 (R)、緑 (G)、青 (B) 各色の明るさを調整して色合いを微調整できます。

▲ボタンまたは▼ボタンを押して調整したい色を選択し、Menu ボタンを押します。

その後、▲ボタンまたは▼ボタンを押して、お好みの明るさに調整します。

・色合い選択画面を表示すると、RGB 調整の設定値は無効となります。

●黒レベル調整

RGB の基準レベル (オフセット値) を設定します。

重要

- ・ディスプレイにはそれぞれ個体差があるため、複数台のディスプレイを並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときには、視覚的に判断しながら微調整してください。

■OSD

Menu ボタンを押して  アイコンを選択します。

▲ボタンまたは▼ボタンで調整項目を選択し Menu ボタンを押すと、各項目の調整ができます。

● OSD 水平位置調整

▲ボタンまたは▼ボタンで、水平方向の OSD 表示位置をお好みの位置に調整します。

● OSD 垂直位置調整

▲ボタンまたは▼ボタンで、垂直方向の OSD 表示位置をお好みの位置に調整します。

● 言語選択

▲ボタンまたは▼ボタンを押して、ご希望の OSD 表示言語を選択します。

「日本語」、「ENGLISH(英語)」の 2 種類から選べます。初期状態は「日本語」です。

■ リコール

Menu ボタンを押して **[R]** アイコンを選択します。

▲ボタンまたは▼ボタンで「する」を選択すると、OSD 画面で調整した値を工場出荷状態に戻すことができます。

■ OSD ロック機能

OSD をロックして非表示にすると、「色調整」や「画質調整」を設定できる人を制限できます。ただし、「明るさ調整」については、OSD ロック機能を設定しても変更できます。

OSD ロック機能の設定は、次の手順で行います。

1 ディスプレイに映像信号が入力されていることを確認します。

2 電源スイッチを押して、電源を切ります。

3 [Menu] ボタンを押しながら、電源スイッチを押し続けます。

4 電源スイッチをはなします。

5 [Menu] ボタンをはなします。

OSD ロックが設定されます。

OSD ロック機能を解除する場合は、手順 1～5 を再度行ってください。

アームを使う場合

市販のアームを取り付けて使うことができます。アームを取り付ける場合は、次の条件に合ったアームをご使用ください。

- VESA マウントインタフェース 100mm 規格に適合している
- ディスプレイを取り付けても、外れたり倒れたりしない
- 手で動かした位置に止まる
- 前後に動かすことができる

ヒント

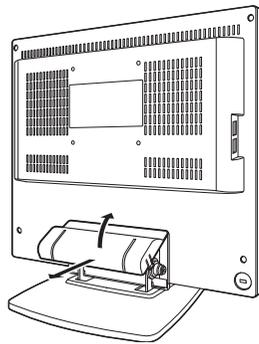
- ・ アーム固定用ネジ穴間隔は 100 × 100mm です。

なお、アームに付属のマニュアルも併せてご参照ください。

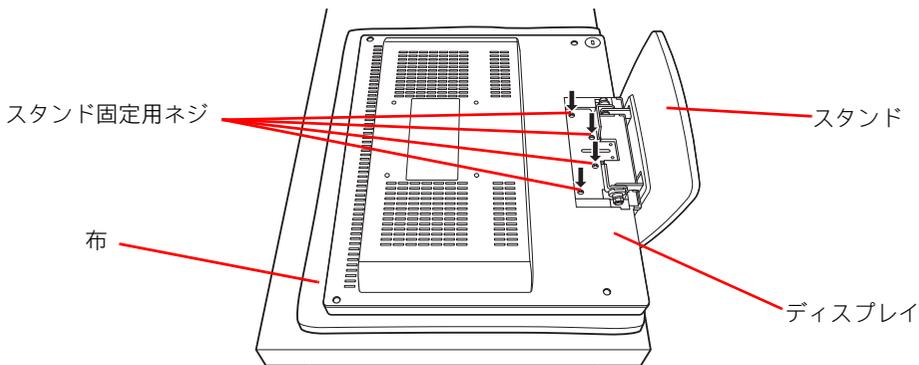
アームの取り付け

アームの取り付けは、次の手順で行います。

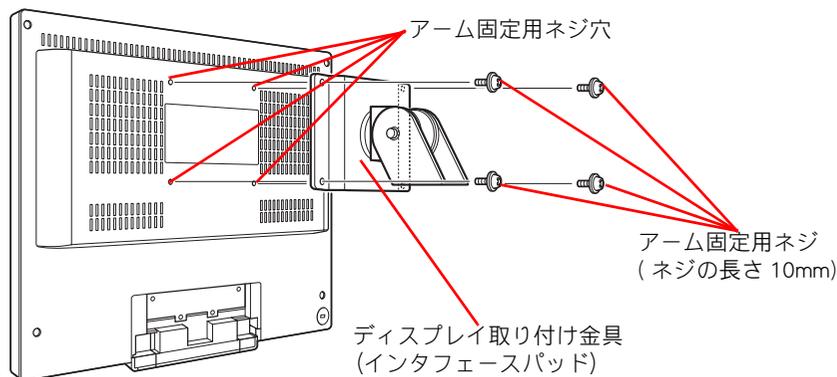
- 1 すべてのケーブルをディスプレイから取り外す。
- 2 スタンドカバー左右にあるツメを押し、スタンドカバーを引き上げ取り外す。



- 3 液晶パネルを傷つけないよう、水平な場所に柔らかい布などを敷き、その上にディスプレイの正面を下に向けて置く。



- 4 手順 3 の矢印で示したスタンド固定用ネジ (4 箇所) をドライバーで外し、スタンドを取り外す。
- 5 アームのディスプレイ取り付け金具を、アームに付属のネジで、ディスプレイのアーム固定用ネジ穴にネジ止める。



ヒント

- ・ アームは固定する台に先に取り付けてください。

重要

- ・ アームを固定するときは、スタンド固定用のネジは使用しないでください。必ずアームに付属するネジ (M4 × 10 : ネジ径 4mm、ネジの長さ 10mm) を使用してください。スタンド固定用のネジを使用すると、アームに固定できず、ディスプレイ破損の原因になります。なお、取り外したスタンドを再度取り付ける場合は、元のスタンド固定用ネジを使用してください。

警告

- ・ アームの取り付けは、確実に行ってください。外れたり倒れたりしてけがや故障の原因になります。万一、落下した場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると感電や火災の原因になります。
- ・ 固定するネジは、アームに付属のネジ (長さ 10mm) を使用してください。付属以外の長すぎるネジを使用すると、正規の絶縁が確保されず、感電や本ディスプレイ故障の原因となります。

- 6 手順 1 で外したケーブルを、接続し直す。

お取り扱い

日頃のお手入れ

- 日頃のお手入れは、あらかじめ電源が入っていないことを確認してから行ってください。
- ディスプレイのほこりは、掃除機や乾いた布で取り除いてください。汚れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。汚れがひどいときや油による汚れは、水や中性洗剤に浸して固く絞った布で軽くふき取ってください。水や洗剤がディスプレイ内部に入ると故障の原因となります。
特に、次の洗剤などは塗装を痛めますので使用しないでください。
・アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、カーワックス類など
- ベンジンやシンナーなどの薬品を使ったり、殺虫剤をかけると、変形または変色することがあります。
- ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 化学ぞうきんを使うときは、その注意書に従ってください。
- 液晶表示面は傷つきやすいので、硬いもの（鉛筆硬度 HB 以上）で押ししたりこすったりしないでください。ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が付きまますのでご注意ください。
- 液晶表示面にほこりがたまった場合は、乾いた柔らかい布で表示面を軽くふき取ってください。落ちにくい汚れの場合は、市販の液晶画面用クリーナーを少量つけて、ふき取ってください。このときクリーナーが流れ落ちてディスプレイ内部に入らないようにご注意ください。

そのほか

- ご使用にならないときは、カバーなどをかけてほこりが入らないようにしてください。
- 液晶表示面の周囲を押さえたり、その部分に過度のストレスがかかる状態で持ち運んだりしないでください。液晶表示面が破損するおそれがあります。
- 液晶パネルの性質上、画面上で正しい色が表示できない点（ドット）が生じることは避けられませんのでご了承ください。
- 表示画面によっては色むらが見える場合があります。液晶の特性上、本現象が発生することがありますが故障ではありません。
- 接続するパソコンによっては、OS（オペレーティングシステム）が立ち上がるまでに表示解像度の切り替えを頻繁に行うため、ディスプレイへの画面表示が数秒遅れることがあります。これは、パソコンから出力される映像信号が安定するまでの間にディスプレイが信号を監視するためであり、故障ではありません。パソコンから出力される映像信号が安定したら、画面は正しく表示されます。
- 表示解像度が切り替わる瞬間に画面ノイズが表示されることがあります。故障ではありません。
- ディスプレイ部は前後へ傾けることができます。このとき過度のストレスがかからないように、両手で操作してください。無理な力が加わると、故障の原因となります。

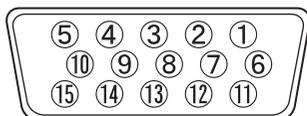
ハード技術情報

仕様

LCD	17.0 型カラー液晶 画素ピッチ 0.264(H) × 0.264(V)mm 駆動方式：TN 方式 表面処理：アンチグレア 視野角：上下 130°、左右 140°	
映像入力信号	アナログ (D-Sub) 入力 ビデオ 0.7Vp-p、75Ω 同期 TTL レベルセパレート	
入力端子	D-Sub15 ピンコネクター オーディオ ミニジャック端子 電源入力コネクター	
解像度	水平 最大 1280 ドット、垂直 最大 1024 ドット	
表示画面サイズ	水平 337.9 mm、垂直 270.3 mm	
表示色	約 1619 万色 (擬似フルカラー)	
明るさ	300cd/m ²	
コントラスト比	450:1	
スピーカー	最大出力 1W+1W	
調節機能	OSD 調整 (自動調節、明るさ調整、音量調整、画質調節、色調節、OSD、リコール)	
省電力機能	国際エネルギースタープログラム適合、 アナログ (D-Sub) 入力 省電力モード	
Plug&Play	VESA DDC 2B	
環境条件	(動作時)	温度 5 ~ 35 °C 湿度 20 ~ 80%Rh 以下 (結露しないこと) 最大湿球温度 25 °C
	(非動作時)	温度 -10 ~ 60 °C 湿度 10 ~ 90%Rh 以下 (結露しないこと) 最大湿球温度 25 °C
電源	AC 100V 50/60 Hz	
消費電力	最大 40W 定常時 約 33W 省電力モード時 2W 以下 (ただし、音声出力がないこと)	
寸法	374(H) × 383(W) × 192(D)mm	
質量 (スタンド含む)	約 5.1kg	

コネクター信号について

● D-Sub15 ピンコネクター



端子	信号名	信号の内容
1	R	アナログ赤
2	G	アナログ緑
3	B	アナログ青
4	GND	シグナルグランド
5	GND	シグナルグランド
6	R-GND	リターン赤
7	G-GND	リターン緑
8	B-GND	リターン青
9	DDC+5V	DDC 用 +5V 入力
10	GND	シグナルグランド
11	GND	シグナルグランド
12	SDA	DDC データ
13	HSYNC	水平同期信号
14	VSNC	垂直同期信号
15	SCL	DDC クロック

ビデオモード

パソコンのビデオモードを次のいずれかに設定してお使いください。
設定方法については、パソコンに付属のマニュアルをご参照ください。

● アナログ入力

項番	表示モード	ドットクロック : MHz	水平同期周波数 : kHz	垂直同期周波数 : kHz
1	640 × 350(MS-DOS)	25.18	31.47	70
2	720 × 400(MS-DOS)	28.32	31.45	70
3	640 × 480(MS-DOS)	25.18	31.47	60
4	640 × 480(Macintosh)	30.24	35.00	67
5	640 × 480(VESA)	31.50	37.86	72
6	640 × 480(VESA)	31.50	37.50	75
7	800 × 600(VESA)	36.00	35.16	56
8	800 × 600(VESA)	40.00	37.88	60
9	800 × 600(VESA)	50.00	48.08	72
10	800 × 600(VESA)	49.50	46.88	75
11	832 × 624(Macintosh)	57.28	49.70	75
12	1024 × 768(VESA)	65.00	48.36	60
13	1024 × 768(VESA)	75.00	56.48	70
14	1024 × 768(VESA)	78.75	60.02	75
15	1280 × 1024(VESA)	108.00	63.98	60
16	1280 × 1024(VESA)	135.00	79.98	75

※：1280 × 1024 以外のモードは、拡大表示しているため文字などがはっきり見えないことがあります。

文字などを擬似的に拡大しているためで故障ではありません。

※：表示モードが切り替わる瞬間に画面にノイズが表示されることがありますが、故障ではありません。

有償部品

ディスプレイの部品は使用しているうちに劣化します。
次の部品は、寿命時に交換してください。
その際は、お買い求め先にご連絡ください。
なお、交換した部品は、購入時の部品と仕様が異なる場合があります。

品名	寿命
液晶モジュール (LCD)	* 1、* 2
表示制御基板	* 1
電源ユニット	* 1、* 3

- * 1 : 各部品の寿命は一般家庭においての使用状態で、一日 8 時間の通電使用をした場合、約 5 年です。
したがって、1 日当たりの通電時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。
- * 2 : 液晶モジュールは、明るさが当初の約 1/2 に低下したときを寿命とします。
なお、寿命となるまでの時間は、使用頻度や輝度設定によって変わります。
- * 3 : 使用しているアルミ電解コンデンサーは寿命のある部品です。

故障かな？と思ったら

考えられる原因と対策

ご使用の際、不具合が生じた場合、次の項目をチェックしてください。

● 電源ランプが点灯しない

考えられる原因	対処方法
電源プラグは接続されていますか？ (コンセント側、ディスプレイ側)	電源プラグを接続してください。
電源スイッチはONになっていますか？	電源スイッチをONにしてください。

● 画面に何も表示されない

考えられる原因	対処方法
パソコンの電源スイッチはONになっていますか？	パソコンの電源スイッチをONにしてください。
D-Sub ケーブルが正しく接続されていますか？	D-Sub ケーブルを正しく接続してください。
省電力機能が働いていませんか？	パソコンを操作して、省電力機能を終了させてください。

● 表示色がおかしい

考えられる原因	対処方法
D-Sub ケーブルが正しく接続されていますか？	D-Sub ケーブルを正しく接続してください。
パソコンのセットアップは正しく行われていますか？	パソコンのセットアップの項を参照して正しくセットアップを行ってください。

● スピーカーから音が出ない

考えられる原因	対処方法
オーディオケーブルが正しく接続されていますか？	オーディオケーブルを正しく接続してください。
パソコンのセットアップは正しく行われていますか？	パソコンのセットアップの項を参照して正しくセットアップを行ってください。
音量調整が最小になっていませんか？	適切な音量に調整してください。

● OSD メニュー画面が表示されない

考えられる原因	対処方法
OSD ロック機能が有効になっていませんか？	OSD 機能の項を参照して OSD ロック機能を解除してください。

アフターケアについて

ここでは、ディスプレイを購入されたあとに受けられるアフターケアについて説明します。

参照

- ・ Prius 集中修理センタへのお問い合わせについて→パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

保証書について

保証書は、パソコン本体に添付の保証書をご使用ください。
ご購入の際に、所定事項が記入されたものをお受け取りになり、大切に保管しておいてください。
保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容に基づいて無料で修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。保証期間終了後の修理については、「Prius 集中修理センタ」へお問い合わせください。

修理サービスについて

保守サービスをお受けになる際は、「Prius 集中修理センタ」へお問い合わせください。

保守サービスの種類

- 引取り修理
「Prius 集中修理センタ」にご連絡ください。修理依頼品をお受け取りし、修理完了後にお届けいたします。
保証期間中は修理費 / 運送費とも無償です。保証期間後は修理費 / 運送費は有償になります。

保守部品について

ディスプレイの保守部品の保有期間は、製造終了後 6 年です。

液晶ディスプレイ 取扱説明書

初 版 2003年12月

無断転載を禁止します。

落丁・乱丁の場合はお取り替えいたします。

株式会社 日立製作所 インターネットプラットフォーム事業部

〒 243-0435 神奈川県海老名市下今泉 810 番地
お問い合わせ先：安心コールセンタ : 0120-8855-96

Copyright(C) Hitachi, Ltd. 2003. All rights reserved.



このマニュアルは、再生紙を使用しています。

DT3173-1